

武器輸出による 経済成長は可能か？

— 日本・アメリカ・韓国の国際比較 —

2026年 9月24日 (木)
16:00 開始 (15:30開場)

明治大学駿河台キャンパス
グローバルフロント1階 多目的室

事前申込み
不要

参加費
無料

趣旨

本年4月、政府は武器輸出の全面解禁に踏み出した。土台となる防衛産業については、その基盤強化や「国有化」を打ち出しており、「骨太方針2026」でも防衛産業を経済成長のための重点投資先に組み込んでいる。武器輸出全面解禁が国内外に与えるインパクトを我々はどうのように見るべきか、果たして防衛産業が経済成長の牽引力になれるのか、これらの点を国際比較という視点で考察する。

研究所事務局までメールでお問い合わせください。

E-mail: rihgat@meiji.ac.jp

HP: <https://www.isc.meiji.ac.jp/~transfer>

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 15:30 | 開場 |
| 16:00-16:05 | 主催者挨拶
佐原徹哉 (RIHGAT所長、明治大学教授) |
| 16:05-16:15 | コーディネーター趣旨説明
頼綱厚 (山口大学名誉教授・RIHGAT客員研究員) |
| 16:15-16:45 | 日本の防衛産業と「経済成長」
白戸 伸一 (RIHGAT客員研究員) |
| 16:45-17:15 | 防衛に関する日米関係とアメリカの軍産複合体
藤田 怜史 (愛知県立大学准教授) |
| 17:25-17:55 | 韓国防衛産業の武器輸出に関する制度転換
一日中韓の経済安全保障政策を中心にー
金 映根 (高麗大学校教授) |
| 18:05-18:35 | 全体討論・質疑応答 |



第一報告：白戸 伸一
(RIHGAT客員研究員)



第二報告：藤田 怜史
(愛知県立大学准教授)



第三報告：金 映根
(高麗大学校教授)

